

ファイル管理

エクスプローラーを利用する	130
エクスプローラーを起動する	130
フォルダーやファイルを操作する	130
エクスプローラーのメニュー	131
microSDカードを使う	132
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた	132
microSDカード内のデータを確認する	133
microSDカード保存時にファイルを暗号化する	133
USB設定	134
現在の動作モードを確認する	134
Active Syncモードまたはマスストレージモードに変更する	134
ダイヤルアップ接続モードに変更する	135
データを検索する	135
USBホスト機能について	136
接続方法	136
操作方法	136
Microsoft My Phoneを利用する	137
My Phoneサービスの利用を開始する	137
バックアップするデータを設定する	137
SPB Backupを利用する	138
すべてのデータをバックアップする	138
データを選択してバックアップする	138
自動的にデータをバックアップする	139
バックアップしたデータを復元する	139

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターでできること	140
パソコンの動作環境	141
ActiveSyncのインストールと設定	141
Windows Mobileデバイスセンターのインストールと設定	143
Bluetooth [®] 通信で同期する	144

エクスプローラーを利用する

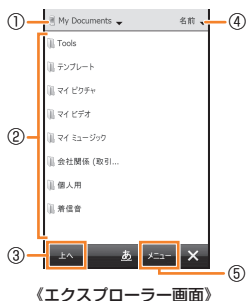
エクスプローラーを使って、ISO2やmicroSDカードに保存されたファイルのコピーや移動、削除、フォルダーの作成などができます。

エクスプローラーを起動する

1 画面上部→「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動し、フォルダーとファイルの一覧が表示されます。

- 画面上部→「エクスプローラー」でも起動できます。



- ① 表示中の階層より上位の階層を表示します。
- ② フォルダーやファイルをタップして開きます。
- ③ 1つ上の階層に移動します。
- ④ 並べ替えの条件を指定して、フォルダーとファイルを並べ替えます。
- ⑤ エクスプローラーのメニューを表示します。

memo

- エクスプローラーを使うとWindowsのシステムファイルなども表示できますが、誤ってそれらのファイルを削除したり移動すると、正常に動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- ファイルをタップしても開かない場合は、対応するプログラムを起動し、プログラムからファイルを開いてください。

フォルダーやファイルを操作する

新規フォルダーを作成する

- 1 エクスプローラー画面で「メニュー」→「新しいフォルダー」
「新しいフォルダー」が作成されます。
- 2 フォルダー名を入力する

フォルダー名やファイル名を変更する

- 1 エクスプローラー画面で名前を変更したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「名前の変更」をタップする
- 3 新しい名前を入力する

フォルダーやファイルを削除する

- 削除したフォルダーやファイルは元に戻せません(削除の取り消しはできません)。
- 1 エクスプローラー画面で削除したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする
ポップアップメニューが表示されます。
 - 2 「削除」をタップする
確認画面が表示されます。
 - 3 「はい」をタップする

フォルダーやファイルをコピー／移動する

1 エクスプローラー画面でコピー／移動したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「コピー」または「切り取り」をタップする

3 コピー先または移動先のフォルダーを開く

4 「メニュー」→「編集」→「貼り付け」

エクスプローラーのメニュー

エクスプローラー画面で「メニュー」をタップすると、以下の機能を利用できます。

項目		説明
移動	My Documents	My Documentsに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	マイデバイス	マイデバイスに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	フォルダー	フォルダーの階層を選択します。
	パスを開く	新しいパス
新しいパス	パスを入力してネットワーク上の共有フォルダーを開くことができます。一度入力したパスは、履歴から選択して開くことができます。	
最新の情報に更新		最新の状態に更新します。
ファイルを選択	すべて	フォルダーやファイルをすべて選択します。
	複数	任意のフォルダーやファイルを選択できます。

項目		説明
すべてのファイルを表示		チェックを付けると、隠しファイルを含め、すべてのファイルを表示します。
並べ替え		指定した条件(名前、日付、サイズ、種類)でフォルダーとファイルを並べ替えます。
送信		選択したファイルを電子メールに添付して送信します。
ファイルをビームする		選択したファイルをBluetooth®通信で送信します。
新しいフォルダー		新規フォルダーを作成します。
名前の変更		フォルダー名やファイル名を変更します。
削除		フォルダーやファイルを削除します。
編集	元に戻す*	直前に行った操作を取り消します。
	切り取り	フォルダーやファイルを切り取ります。
	コピー	フォルダーやファイルをコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダーやファイルを貼り付けます。
ショートカットの貼り付け		コピーしたフォルダーやファイルのショートカットを貼り付けます。

* 削除したフォルダーやファイルは元に戻せません。

microSDカードを使う

ISO2には、microSDカードやmicroSDHCカードを取り付けることができます。

- ISO2は、2GBまでのmicroSDカードと16GBまでのmicroSDHCカードに対応しています(2010年4月現在)。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 電子メールや連絡先、予定、仕事などのデータは、SPB Backupなどを使用してmicroSDカードに保存できます。
- 当社基準において動作確認したmicroSDカードは、次の通りになります。その他のmicroSDカードの動作確認につきましては、各microSDカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSDカード>

発売元	256MB	512MB	1GB	2GB
東芝	—	—	○	○
Panasonic	○	○	○	○
SanDisk	—	—	○	○
アドテック	—	—	○	○
バッファロー	—	—	○	○
ソニー	—	—	—	○

<microSDHCカード>

発売元	4GB	8GB	16GB
東芝	○	○	○
Panasonic	○	○	○
SanDisk	○	○	○
アドテック	○	○	—
バッファロー	○	○	○
ソニー	○	○	—

○:動作確認済み ー:未確認または未発売 2010年4月現在

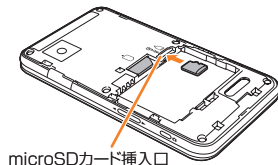
※ISO2では、2010年4月現在販売されているmicroSDカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、auお客様センターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、本体裏フタと電池パックを取り外してから行ってください。

microSDカードを取り付ける

- microSDカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む



memo

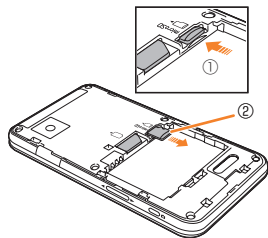
- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDカードを取り外す

- 1 microSDカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込んでから(①)離す

microSDカードが少し飛び出します。

- 2 microSDカードをまっすぐ引き出す(②)



microSDカード内のデータを確認する

- 1 画面上部の「アプリ」アイコン → 「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

- 「設定」→「エクスプローラー」でも起動できます。

- 2 画面左上の ▼ をタップし、「Storage Card」をタップする

microSDカード内のファイルやフォルダーが表示されます。



memo

◎ USB接続の設定をマストレージモードにして、パソコンとUSB接続しているときは、ISO2からmicroSDカードにアクセスできません。

microSDカード保存時にファイルを暗号化する

お買い上げ時 オフ

microSDカードにファイルを保存するとき、自動的に暗号化して保存することができます。暗号化したファイルは別のau電話やパソコンでは開けず、本ISO2でのみ開くことができます。

- 1 「設定」→「システム」→「暗号化」
- 2 「メモリ カード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける
- 3 「暗号化」をタップする



memo

◎ マスタークリアを行うと、暗号化されたファイルは一切読み出すことができません。マスタークリアを行う前に、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用して、暗号化されたファイルをパソコンにコピーすると、暗号化が解除されてコピーされます。

USB設定

お買い上げ時	USBモード Active Syncモード/マストレージ USB to PC Active Syncモード 高度なネットワーク機能を有効にする:無効
--------	--

パソコンとISO2を付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01でつないだときのISO2の動作は次の3種類から選択することができます。

Active Syncモード	ISO2のメモリに保存されたデータを、パソコン上で読み書きできます。 パソコンとISO2のデータを同期することもできます。 • Active Syncモードでパソコンと接続しているときは、接続しているパソコンのネットワークを使用します。接続しているパソコンがネットワークに接続されていない場合は、パケット通信をご利用になれません。
マストレージモード	ISO2に取り付けたmicroSDカードのデータを、パソコン上で読み書きできます。 • USB接続しているときは、ISO2からmicroSDカードにアクセスできません。
ダイヤルアップ接続モード	ISO2の電話機能を使って、パソコンから電話をかけたり一般のプロバイダに接続することができます。

現在の動作モードを確認する

1 設定メニューから確認する

設定メニューから確認する手順は以下の通りです。
• 「設定」→「接続」→「USBモード」でも確認できます。

2 設定を確認する

「ダイヤルアップ接続」にチェックが付いていた場合は、現在の動作モードはダイヤルアップ接続モードです。
「Active Syncモード/マストレージ」にチェックが付いていた場合は、「×」をタップして操作3に進みます。

3 「USB to PC」をタップする

4 設定を確認する

チェックが付いているモードが、現在の動作モードです。

Active Syncモードまたはマストレージモードに変更する

1 設定メニューから確認する

設定メニューから確認する手順は以下の通りです。
• 「設定」→「接続」→「USB to PC」でも設定できます。



2 「Active Syncモード」または「マストレージモード」をタップする

3 「はい」をタップする



◎「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けると、ISO2がネットワーク機器として接続され、Active Syncモードでの接続が高速になります。チェックを外すと、ISO2がUSB機器として接続されます。

ダイヤルアップ接続モードに変更する



- 1  → 「設定」 → 「ネットワーク／接続」 → 「USBモード」
 - ・  → 「設定」 → 「接続」 → 「USBモード」でも設定できます。
- 2 「ダイヤルアップ接続」をタップする
 - ・ 「Active Syncモード／マストレージ」をタップすると、Active Syncモードに変更されます。
- 3 「OK」 → 「ok」



◎ 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ダイヤルアップ接続モードに変更してもダイヤルアップ接続は利用できません。

データを検索する

ISO2のMy DocumentsやmicroSDカード内に保存されたファイルの名前、予定表、連絡先、仕事、メモなどのデータやヘルプに含まれる文字列を検索できます。

- 1  → 「検索」
検索画面が表示されます。
 - ・  → 「検索」でも検索できます。
- 2 検索したい文字列を入力する
ファイル名や、電子メール、予定表などのデータに含まれる文字列を入力します。
- 3 「種類」の右にある ▼ をタップして、検索したいデータの種類を選択する
- 4 メニューバーの「検索」をタップする
検索結果が表示されます。
- 5 参照したいファイルやデータをタップする
ファイルやデータが開きます。



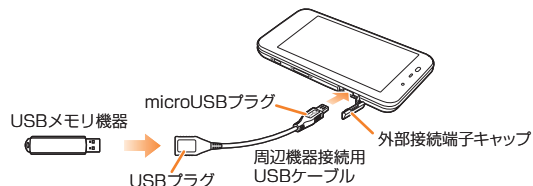
- ◎ データによっては、その中に含まれる文字列が検索されないものがあります。
- ◎ 「検索」の右にある ▼ をタップすると、以前入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。

USBホスト機能について

ISO2にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USBメモリ機器(市販品)を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前にISO2を充電してください。電池残量が少ないとUSBホスト機能を起動できません。
- USBホスト機能使用中に電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を予告するメッセージが表示されます。さらに電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を通知するメッセージが表示され、USBホスト機能が停止します。周辺機器接続用USBケーブルを抜いて充電してください。
- 100mAを超える電流を必要とするUSBメモリ機器には接続しないでください。USBホスト機能が正常に機能しないことがあります。

接続方法



- 1 ISO2の外部接続端子キャップを開け、周辺機器接続用USBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む**
 - microUSBプラグは、プラグの向きを確認して水平に差し込みます。
- 2 周辺機器接続用USBケーブルのUSBプラグにUSBメモリ機器を差し込む**

操作方法

- 1 画面上部→「エクスプローラー」**
エクスプローラーが起動します。
 - 画面下部→「エクスプローラー」でも起動できます。
- 2 「マイ デバイス」の一覧画面を表示する**
 - 「マイ デバイス」以外の階層が表示されている場合は、画面左上の▼をタップして、「マイ デバイス」を選択します。
- 3 「ハード ディスク」をタップする**
接続したUSBメモリ機器内のファイルやフォルダが表示されます。

Microsoft My Phoneを利用する

Microsoft® My Phoneは、マイクロソフト社が無償で提供する携帯電話向けオンラインデータ保存サービスです。連絡先、予定、画像、文書、音楽、動画といったデータを簡単にオンラインサービス上に保存できるサービスです。

My Phoneサービスの利用を開始する

- 1**  →「Microsoft My Phone」
サービスの利用を確認するメッセージが表示されます。
 -  →「Microsoft My Phone」でも操作できます。
- 2** 「次へ」をタップする
プライバシーに関する声明とサービス利用規約へのリンクが表示されます。
- 3** 「承諾」をタップする
- 4** Windows Live IDとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「サインイン」をタップする
 - Windows Live IDを取得していない場合は、「Windows Live IDの新規作成」をタップし、画面の指示に従ってWindows Live IDを取得してください。
- 5** 「次へ」→「自動」→「次へ」
My Phoneサービスが正常に構成されたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 6** 「完了」をタップする
データの同期(初回はMy Phoneサービスサイトへのデータのバックアップ)が始まります。
 - 更新プログラムのインストールを求めるメッセージが表示されたら「はい」をタップし、画面の指示に従ってインストールしてください。

memo

- ◎ 操作 **6** で「手動」を選択した場合、バックアップ(同期)したいデータの種類にチェックを付け、「次へ」→「完了」→「同期」をタップしてバックアップします。
- ◎ 現在の同期を行う場合は、見晴らしのよい場所での実施をおすすめいたします。
- ◎ ActiveSyncを利用して、Microsoft Exchange Serverと同期する設定をしている場合、My Phoneでは連絡先、予定、仕事同期されません。
- ◎ Windows Liveの連絡先は、Windows Liveとの間で同期されます。その他の連絡先はMy Phoneとの間で同期されます。
- ◎ ISO2のMy Documents以外に保存されたドキュメントファイルは同期されません。
- ◎ Microsoft My Phoneサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<http://myphone.microsoft.com>

バックアップするデータを設定する

- 1**  →「Microsoft My Phone」
 -  →「Microsoft My Phone」でも設定できます。
- 2** 「メニュー」→「同期のオプション」
- 3** バックアップ(同期)したいデータの種類にチェックを付け、「完了」をタップする

SPB Backupを利用する

SPB Backupは、ISO2内の連絡先や予定、電子メール、My Documentsなどのデータのコピーを作成するアプリケーションです。

- バックアップデータは、ISO2にも作成できますが、microSDカードに保存することをおすすめします。
- バックアップする前にメモリ使用量を確認し、ISO2やmicroSDカードのデータ記憶用メモリの空き容量を確保してください(▶P.167)。

すべてのデータをバックアップする

PIMデータ、電子メール、My Documents、システムデータのバックアップ可能なデータをすべてバックアップします。

1 →「SPB Backup」

-  →「SPB Backup」でも操作できます。

2 「フルバックアップ」をタップする

3 バックアップファイル名と保存場所を選択する

- 保存場所を「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。



4 (次へ) をタップする

予想バックアップサイズが表示されます。

5 (次へ) → (次へ)

バックアップが始まります。バックアップが完了すると、ISO2が再起動します。



- ◎  →「SPB Backup」→  →「オプション」をタップして、圧縮レベルなどバックアップに関する設定ができます。

データを選択してバックアップする


PIMデータ、電子メール、My Documents、システムデータからアイテムを選択してバックアップします。

1 →「SPB Backup」

-  →「SPB Backup」でも操作できます。

2 「カスタム バックアップ」をタップする

3 バックアップしたいアイテムにチェックを付ける

- 「My Documents」、「システムデータ」を選択した場合、 をタップしてバックアップしたいデータを選択できます。

4 (次へ) をタップし、バックアップファイル名と保存場所を選択する

- 保存場所を「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。

5 (次へ) をタップする

- データを暗号化する場合は「暗号化」にチェックを付け、「パスワード」と「確認」にパスワードを入力します。

6 「コメントの編集」→バックアップコメントを入力



7 「すべてのデータをバックアップする」の操作 4以降を行う



- ◎ Cメールの送信メール、受信メール、緊急地震速報のデータをバックアップする場合は、「システムデータ」→「バックアップファイル」→「CMail.vol」を選択してバックアップします。

自動的にデータをバックアップする

指定した曜日と時刻に自動的にデータをバックアップします。

1 → 「SPB Backup」

-  → 「SPB Backup」でも操作できます。

2 「定期バックアップ」をタップする

3 「定期バックアップを有効化」にチェックを付け、曜日と時刻を設定する

- バックアップ時の動作（「バックアップ後に自動的にリセット」／「再起動後にデバイスの電源を切る」／「AC電源時のみバックアップ」）を変更できます。

4 (次へ) をタップする

5 バックアップデータを保存するフォルダを選択する

- 保存するフォルダを「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。

6 (次へ) をタップする

7 バックアップしたいアイテムにチェックを付け、

(次へ) をタップする

- データを暗号化する場合は「暗号化」にチェックを付け、「パスワード」と「確認」にパスワードを入力します。

8 「コメントの編集」→バックアップコメントを入力

→ → (次へ)

定期バックアップの設定内容が表示されます。

9 をタップする

- 操作 8 で「バックアップ後に自動的にリセット」がオフの場合でも、「オプション」の「バックアップ前にプロセスを終了」がオンで、かつ定期バックアップを開始するときに「バックアップ」をタップして開始した場合、バックアップが完了すると自動的にISO2が再起動します。

バックアップしたデータを復元する

ISO2やmicroSDカードにバックアップしたデータをISO2内に復元します。

1 → 「SPB Backup」


-  → 「SPB Backup」でも操作できます。

2 「バックアップのレストア」をタップする

3 復元したいバックアップデータをタップし、 (次へ) をタップする

- データを暗号化している場合は、パスワードを入力します。

4 「フル レストア」または「レストアのカスタマイズ」をタップする

- 「レストアのカスタマイズ」をタップした場合は、復元したいアイテムにチェックを付け、 をタップしてデータを選択します。

5 (次へ) をタップする

- 必要に応じて時間調整を行います。

6 (次へ) をタップする

- 「オプション」をタップして、レストア時のオプションを調整できます。

7 (次へ) → (次へ)

レストアが始まります。レストアが完了すると、ISO2が再起動します。

ActiveSync / Windows Mobile デバイスセンターでできること

ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターは、ISO2にあるファイルやOutlookなどのデータを、パソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。

ISO2をActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターをインストールしたパソコンに接続して、以下のことができます。

■ パソコンとの同期

- パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ(電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモ)を、ISO2のデータと同期させることができます。
- ISO2のお気に入り、パソコンで利用しているInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」と同期させることができます。
- ISO2のWord MobileやExcel Mobileのファイルを、パソコンのWordやExcelのファイルと同期させることができます。
- パソコンにWindows Media Playerがインストールされている場合は、静止画、動画、音楽などのメディアファイルを同期させることができます。詳しくは、「パソコンの動作環境」(▶P.141)をご参照ください。

■ ファイルのコピー / 移動

パソコンとISO2の間で、ファイルのコピーや移動を行えます。

■ プログラムのインストール

パソコンからISO2へプログラムをインストールすることができます。

■ その他

- パソコンで表示したWebページのURLを、ISO2に転送できます。
- 社内ネットワークが、Exchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverに対応している場合、ISO2とサーバとの間で電子メール情報を直接同期させることができます。



- ◎ Active Syncモードでパソコンと接続しているときは、接続しているパソコンのネットワークを使用します。接続しているパソコンがネットワークに接続されていない場合は、パケット通信をご利用になれません。
- ◎ パソコンのActiveSyncの設定で「デスクトップコンピュータに接続中にデバイスの無線接続を許可する」を選択していない場合、またはWindows Mobileデバイスセンターの設定で「PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する」を選択していない場合は、パソコンとの同期中に無線LAN機能を利用できません。
- ◎ Active Syncモードの「高度なネットワーク機能を有効にする」(▶P.134)にチェックを付けると、ISO2がネットワーク機器として接続され、Active Syncモードでの接続が高速になります。チェックを外すと、ISO2がUSB機器として接続されます。
- ◎ Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
- ◎ ISO2側のOutlookメール以外の電子メール、Cメールをパソコンと同期させることはできません。
- ◎ パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能は反映されません。
- ◎ ActiveSyncとWindows Mobileデバイスセンターの詳しい使いかたは、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプをご覧ください。

パソコンの動作環境

お使いのパソコンのOS(オペレーティングシステム)によって、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのどちらか一方をインストールできます。

■ ActiveSyncをインストールするパソコン

OS	• Microsoft Windows XP
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要な • Microsoft Outlook 2007 • Microsoft Outlook XP • Microsoft Outlook 2003 お気に入りの同期に必要な Internet Explorer 6.0以降 メディアファイルの同期に必要な Windows XP: Windows Media Player 10/11
通信環境	• USBポート(USB1.1/USB2.0) • Bluetooth [®] 通信機能

■ Windows Mobileデバイスセンターをインストールするパソコン

OS	• Microsoft Windows Vista • Microsoft Windows 7
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要な • Microsoft Outlook 2007 • Microsoft Outlook XP • Microsoft Outlook 2003 お気に入りの同期に必要な Internet Explorer 7.0以降 メディアファイルの同期に必要な Windows Vista: Windows Media Player 11 Windows 7: Windows Media Player 12
通信環境	• USBポート(USB1.1/USB2.0) • Bluetooth [®] 通信機能

ActiveSyncのインストールと設定

ActiveSyncをインストールする

パソコンでActiveSync 4.5をダウンロードして、インストールします。

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- ISO2をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。ISO2をパソコンに接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はISO2をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

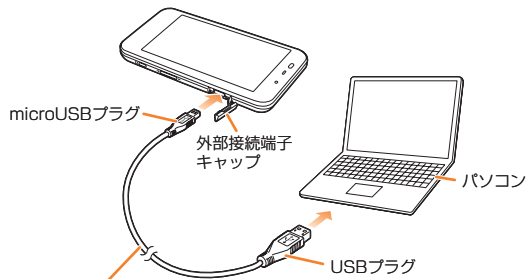
- 1** マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.aspx>)にアクセスする
- 2** Windows Mobile 6「Microsoft ActiveSync 4.5 (日本語版)」(ダウンロードリンク)をクリックする
- 3** 画面の指示に従ってセットアップファイルをパソコンにダウンロードする
 - 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。
- 4** デスクトップにあるセットアップファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

同期を設定する

- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください。

1 IS02の外部接続端子キャップを開け、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- 東芝microUSB-USB変換ケーブル01のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認してIS02の外部接続端子に水平に差し込みます。
- 東芝microUSB-USB変換ケーブル01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。



東芝microUSB-USB変換ケーブル01

同期セットアップウィザードがパソコン上に表示されます。

2 「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、IS02をサーバと直接同期させるかどうか確認する画面が表示されます。直接同期させる場合は「Microsoft Exchangeを実行中のサーバーと直接同期する。…」にチェックがあることを確認し、「次へ」をクリックして画面の指示に従って設定してください。
サーバへの接続情報(サーバアドレス、ドメイン名など)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Pocket PC名の入力画面が表示された場合は、名前を確認/変更して「次へ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

- 項目を選択して「設定」をクリックすると、同期の条件を変更できます。

4 画面の指示に従って設定する

5 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックする

操作3でチェックを付けた項目の同期が自動的に開始されます。

自動で同期を開始する

IS02とパソコンを付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01で接続すると、IS02かパソコンのどちらかでデータが更新された場合、設定した同期の条件に従って、自動的に同期が行われます。



- ◎ 以下の操作で同期させる項目を変更することができます。
パソコンのActiveSync画面の「ツール」メニュー→「オプション」→同期させる項目にチェックを付けて、「OK」をクリックする

手動で同期を開始する

ISO2から手動で同期を開始するには、以下の操作を行ってください。

1 罫→「ActiveSync」

- 罫→「ActiveSync」でも操作できます。

2 「同期」をタップする

Windows Mobileデバイスセンターのインストールと設定

Windows Mobileデバイスセンターをインストールする

パソコンでWindows Mobileデバイスセンターをダウンロードして、インストールします。

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- ISO2をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。ISO2をパソコンに接続した状態でWindows Mobileデバイスセンターをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はISO2をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

1 マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.msp>)にアクセスする

2 Windows Mobile 6「Windows Vista & Windows 7用 Windows Mobile デバイス センター 6.1(xxビット)※(日本語版)」(ダウンロードリンク)をクリックする

※お使いのパソコンのOSにあわせて、32ビットまたは64ビットをダウンロードしてください。

3 画面の指示に従ってセットアップファイルをパソコンにダウンロードする

- 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。

4 デスクトップにあるセットアップファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

同期を設定する

- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください。

1 付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用し、ISO2をパソコンに接続する

- 「同期を設定する」(▶P.142)の操作1の説明とイラストを参照してください。
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の画面に続いて、Windows Mobileメンバーセンターへの登録画面が表示されます。それぞれ画面の指示に従って操作してください。

2 「デバイスのセットアップ」をクリックする

- 「デバイスをセットアップしないで接続」をクリックすると、セットアップが終了します。再度、セットアップする場合は、「Windows Mobileデバイスセンター」を起動し、「モバイルデバイスの設定」→「デバイスのセットアップ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、電子メールサーバ情報の入力画面が表示されます。サーバアドレスやアカウント情報を入力して「次へ」をクリックするか、何も入力しないで「スキップ」をクリックして、次へ進みます。

4 デバイス名を入力し、「セットアップ」をクリックする

セットアップが完了し、自動的に同期を開始します。

memo

- ◎ 操作3で「スキップ」を選択した場合、セットアップ後にWindows Mobile デバイスセンターを起動し、「モバイル デバイスの設定」→「詳細」→「Exchange Serverとのワイヤレス同期」で、サーバアドレスやアカウント情報を入力できます。
- ◎ IS02とパソコンを接続すると自動的に同期が行われますが、Windows Mobileデバイスセンターは自動的に起動しません。同期の状況を確認したり、設定を変更するには、パソコンのWindows Mobileデバイスセンターを起動してください。

Bluetooth®通信で同期する

- Bluetooth®通信で同期を行うには、あらかじめIS02とパソコンとの間で、パートナーシップを確立してください。
- Bluetooth®機能をオンにする際、モードの設定で「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けてください。また、ビーム受信の設定で「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けてください。

1 パソコン側の設定をする

- パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプを参照して、Bluetooth®通信で同期するための設定をします。
- パソコン本体とBluetooth®機器の取扱説明書もご参照ください。
- 操作2以降はIS02で操作します。

2 →「設定」→「ネットワーク/接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

- →「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

3 接続するパソコンを選択する

4 サービスの一覧から「ActiveSync」にチェックを付けて、「保存」→→

5 →「ActiveSync」

- →「ActiveSync」でも起動できます。

6 「メニュー」→「Bluetoothから接続」

パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターが自動的に起動し、同期が開始されます。

memo

- ◎ パソコンとの同期が完了したら、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。
- ◎ Bluetooth®通信でパソコンと接続すると、Windows Media Playerによるメディアファイルの同期ができません。Windows Media Playerを使って同期するには、USB接続をしてください。